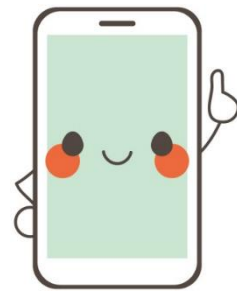


## 食いしん防災コミュニティ部会がいく！

(第61回 2023年6月)



たとえば、食いしん防が家族に何か尋ねるとする。「〇〇はどういう意味だっけ？」とか「〇〇はどうやってするんだっけ？」といった質問だ。するとたいていの場合、奥さまやムスメたちは冷たい口調でこう返してくる。

「スマホで調べれば？」

そのたびに食いしん防はせつない気持ちになるのである。



食いしん防が子どもだったころ、大人に言葉の意味や字を尋ねると、こう答えてくる人が必ずいた。

「辞書で調べなさい」

そう言われると心の中で(教えてくれたっていいじゃないか、ケチ)とののしったものだ。当時の辞書は重くて、簡単に持ち歩けるものではなかった。それを使って調べるには、けっこうな手間がかかったのだ。

今から思えば、辞書で調べろと言った大人の考えも理解できる。答えを教えるのは簡単だが、楽に手に入れた答えはなかなか身につかない。苦労して得た答えは忘れないものだ。だから自分で調べる癖をつけさせようとしたのだろう。

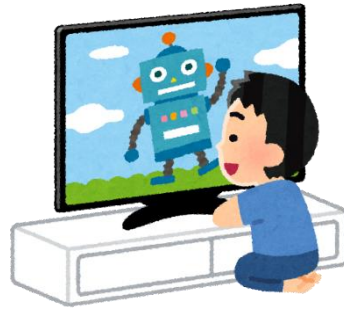
でも最近の「スマホで調べろ」はちょっと意味が違う気がする。現在では誰もがスマホを持ち歩いている。このちっぽけな1台で、辞書数百冊(数万冊?)に相当する情報を得られる。つまり今では、自分で調べる方が楽で、教える方が面倒なのだ。昔とは簡単と面倒が逆転している！

何でも簡単に自分で調べちゃえるというのは、すごく便利ではある。でもせっかくのコミュニケーションの機会を減らすことにつながるのでは？「楽に手に入れたものは身につかない」という法則は、この場合も有効なのでは？

検索エンジンを携帯できるようになったことで、人間は多くのことを記憶する必要がなくなった。覚えなくても調べればわかる。誰かに教えてもらわなくても調べればわかる。便利だけど、これでは人間は馬鹿になっていくのではなかろうか。

かつてTVが普及した時も、「TVを見たら馬鹿になる」「1億総白痴化」という説が流布した。そう言われながらも食いしん防の世代はTVを見続け……ええと、馬鹿にはなっていないと言い切れないところが辛いのだが……賢い人もいっぱいいるので、その説は間違いだったと断言できる。願わくば、今回の食いしん防の心配も、杞憂であってほしいと心から願っている。





いちばん賢くなれるのはだれ？

## TOPICS

### ☆防災リーダー養成講座への応募が多数！

前号で紹介した市主催『防災リーダー養成講座』の受講生募集。地区ごとの推薦枠は1名だったので、1名の応募があればいいかなあ（これまでの最高記録は2名）くらいに思っていた。ところが蓋を開けてみると、な、な、なんと今年度の防災推進員さんの中から4名の応募が！（うち1名は都合で辞退）

3名を市に推薦したところ、全員受け入れてもらえました。ってことは、1名も出なかった地区があったわけね。今年の湖東地区は熱い！



### ☆北花沢町自治会と防災訓練の打ち合わせ

これまでとは違う防災訓練をしたいんだけど、どうすればいいか？

そんな相談を受けて、北花沢町の役員会にお邪魔しました。これまで運動会をしていた日を当てたい、とのことだったので、ハード（本格的）な訓練より、楽しくゲーム感覚でできる防災運動会の半日コースを提案しました。

10月初旬にされるそうなので、結果はまたレポートします。今年は北花沢町も熱い！



## 今後の活動予定

6月22日（木）こと防全体会 湖東コミセン別館

6月30日（金）防災・減災のつどい 能登川コミセン

※ 出前講座の申し込み受け付けます！



## 勝手にQ&Aコーナー

Q：防災運動会には、どんな種目があるのですか？

A：よくあるのは、バケツリレー、負傷者搬送レース、大声コンテストなどです。他にもホースつなぎ競争、伝言ゲーム、防災カルタなど、たくさんのメニューがあります。北花沢町がどの種目を選択したかは……秋のお楽しみに！

Q：スマホでの検索が防災と何の関係が……って、どうせ「防災も楽をしてはいけない」とか言うんでしょ。

A：その通り。だいぶわかってきたね。

楽しい質問、お待ちしております！

（文責：こじまっちょ）

